



研究部会報告

●イノベーション●

・第24回

日時：4月4日(土) 14:00~17:00

出席者：8名

場所：中央区新富ワーカーズ・サポートセンター

テーマと講師：「21世紀のための予測と対策」

上田亀之助

20世紀に比べると人口は増え、食糧は不足し、環境汚染は激しくなり、石油等の資源が枯渇してきます。一国や一地方ではどうにも処置不可能なグローバルな問題が増えます。国や人種や異文化をこえて世界中が協力して問題解決に一致協力しなければなりません。

●ファジィ動的計画法●

日時：4月6日(月) 18:00~20:00

場所：日科技連

テーマと講師：「京都会議と日本」

有水 彊 (有水研究所)

昨年の京都会議が日本の複数の環境関係の学会で批判の対象となっている。一方この会議についての米英からの意見が発表されている。しかしこの会議に対する両者の批判は正反対である。

わが国ではこの会議が政治的かけ引きや経済優先の考え方に振り回され、危機感が欠けているので、個人の努力以外に解決法はない。それに対し外国のそれは産業革命以来の大量生産・大量消費を中心とする根本的変革を今回の会議は要求するもので、一刻も早く方向変換を試みないと手遅れになり、環境破壊を止める可能性は失われるとしている。今後の日本のとるべき途についての提言がなされた。

●待ち行列●

・第135回

日時：4月18日(土) 14:00~16:30

出席者：27名

場所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：

(1)「単純マネジメントゲームモデル：生産待ち行列モデルの経済的トラフィックとバッファ設計について」
松井正之 (電気通信大学)

セールスセンターと生産センターからなるマネジメントゲームにおいて、市場スピードと生産スピードの関係から経済的な最適トラフィックをゲーム論的に決定し、それをもとにしたバッファ設計方法を提案した。

(2)「On the relationship between queue lengths at a random instant and at a departure in the stationary queue with BMAP arrivals」

滝根哲哉 (京都大学), 高橋敬隆 (NTT)

マルコフ型到着過程に従う集団到着のある待ち行列システムにおいて、退去時点と任意時点でのシステム内容数分布の関係式を導出し、その式が複数サーバ、有限バッファ、バケーションなどを含む広い範囲のモデルで成立することを示した。

会員名簿発行について

本年11月末を目標に、「会員名簿」を3年ぶりに刊行することとなりました。会員の皆様方には、原簿の訂正作業、広告主の紹介など、多大のご協力、ご支援をいただきたいと考えております。

皆様のお手元に置いていただいて頻繁にご利用いただけるような名簿作成をめざしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

名簿刊行委員長 上田 徹

●平成10年度会費納入のお願い(事務局)

平成10年度の会費につきましては、すでに請求書をお送りさせていただいておりますが、未納の方はお早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、9年度の会費につきましても未納の方は合わせてお支払いくださるようお願いいたします。

(預金口座振替ご利用の方へ)

平成10年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。